

2025/6/28

GHG温室効果ガス(CO2)排出量(2024年度)報告

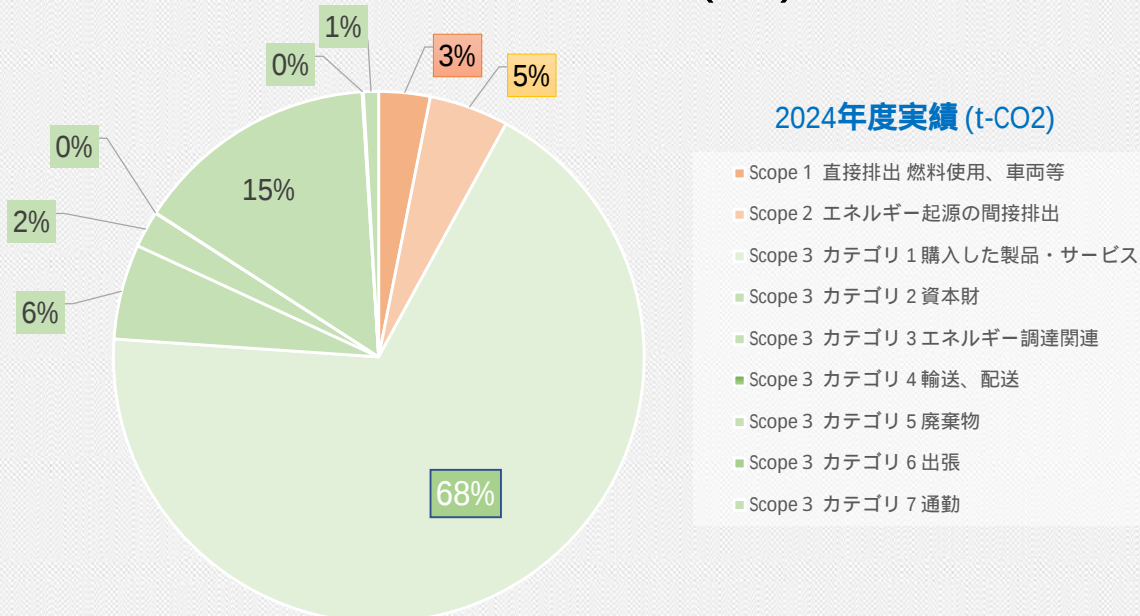
藤本化学製品株式会社

ESG推進室

(単位：t-CO2)

		2024年度実績	比率	算出方法
Scope 1	直接排出 燃料使用、車両等	1,577.5	3.1%	省エネ法燃料使用量、自社自動車
Scope 2	エネルギー起源の間接排出	2,452.4	4.8%	省エネ法購入電力量
Scope 3	カテゴリ 1 購入した製品・サービス	34,482.2	68.1%	購入原材料費
	2 資本財	2,932.3	5.8%	減価償却費
	3 エネルギー調達関連	1,133.6	2.2%	購入電力量
	4 輸送、配送	11.3	0.0%	自社原材料納入、出荷配送
	5 廃棄物	7,533.7	14.9%	廃棄物種別重量
	6 出張	33.7	0.1%	従業員数
	7 通勤	470.1	0.9%	従業員数
合計		50,626.7	100.0%	

グラフ 1 . 温室効果ガス(CO2)排出量



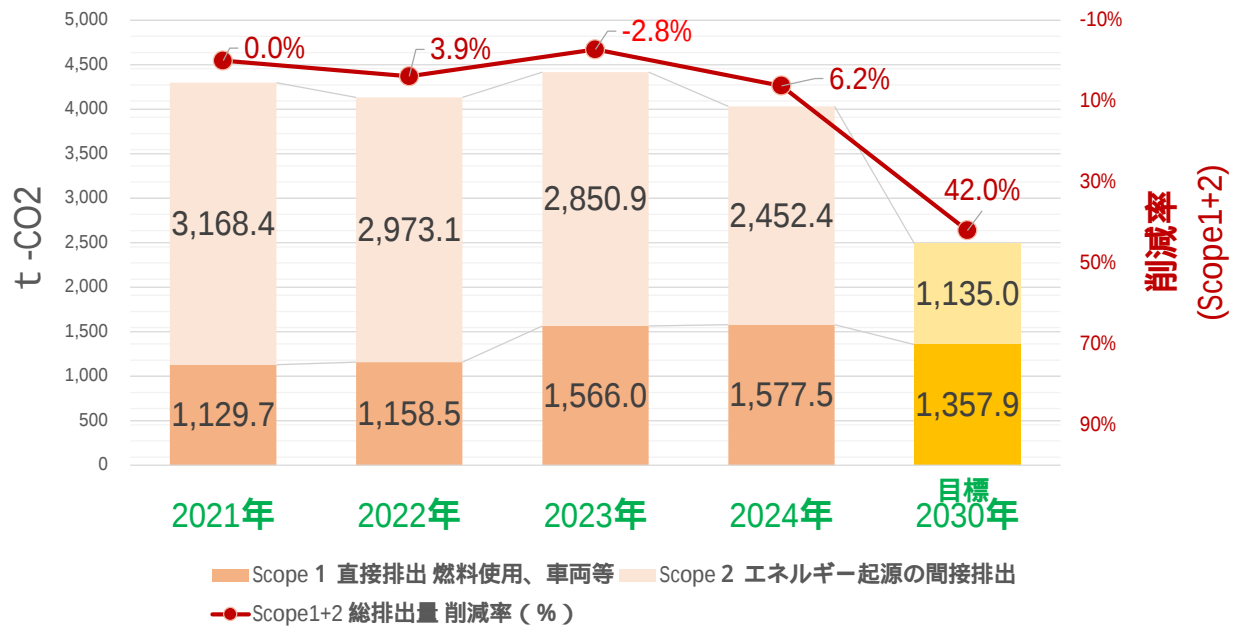
温室効果ガス排出削減目標(SBTi承認：2023年3月)

「2030年までに、Scope1 + Scope2総排出量を42%削減する」(基準2021年)

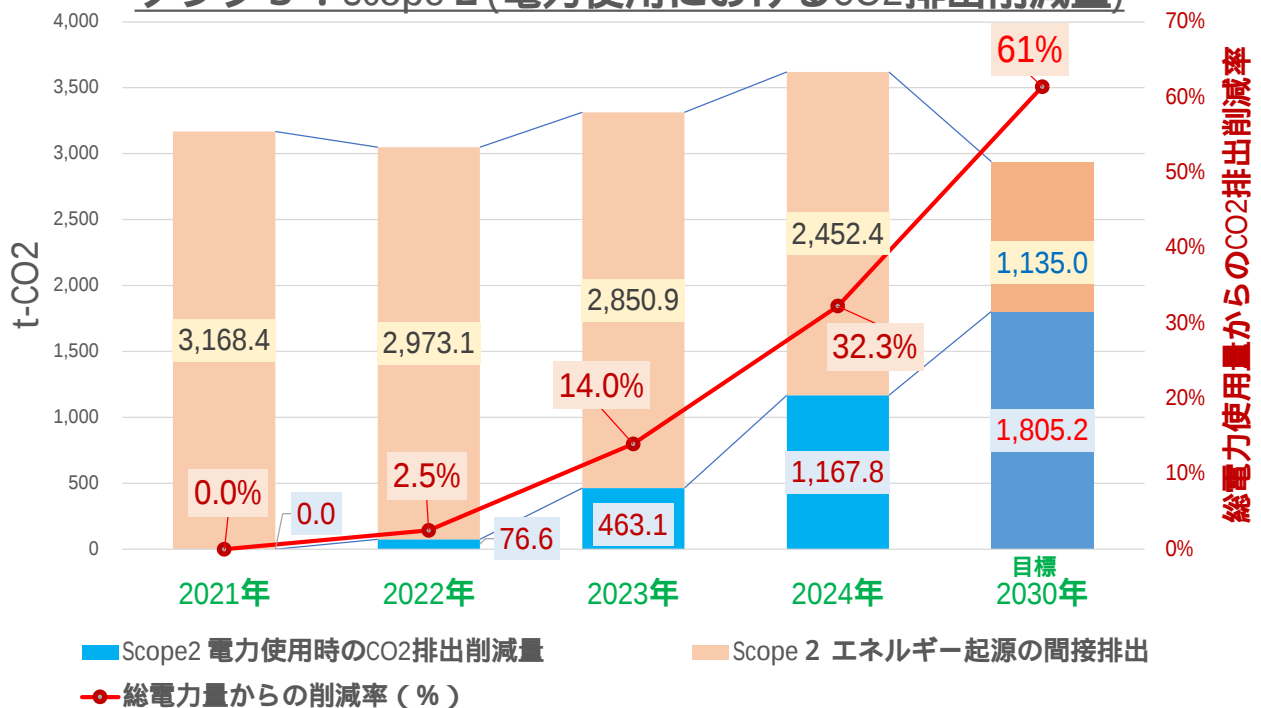
「Scope3の排出量を測定し削減することを約束する」(基準2021年)

- まとめ；
- ・ **グラフ1** . 2024年度 GHG排出量の実績において、Scope 3 カテゴリ1「購入した製品」が全体の68%を占めており、当社の医薬品製造用原料が高価であることから、抜本的な削減は難しい状況である。
 - ・ **グラフ2** . Scope 2 の「電力量」は昨年より398.5 t-CO2を削減した一方、Scope 1 の「直接排出」は11.5 t-CO2増加した。これは、弊社製造工場の稼働率が昨年より増加し、LPGの消費量が前年比11.8%増加したことが主因である。
「Scope1+2の総排出量削減目標 42%」に対して、本年実績 6.2%(昨年比 9.0%GHG排出量が減少)。
 - ・ **グラフ3** . Scope 2 「電力量」の削減対策について、太陽光発電パネル稼働や電力供給会社のエコプラン導入により、GHG排出量を1,167.8t-CO2削減した。Scope2での削減率は32.3%である。来年以降も同様の削減策を推進する。
削減実績量：太陽光発電パネル(22.0 t-CO2：0.6%削減)、エコプラン(

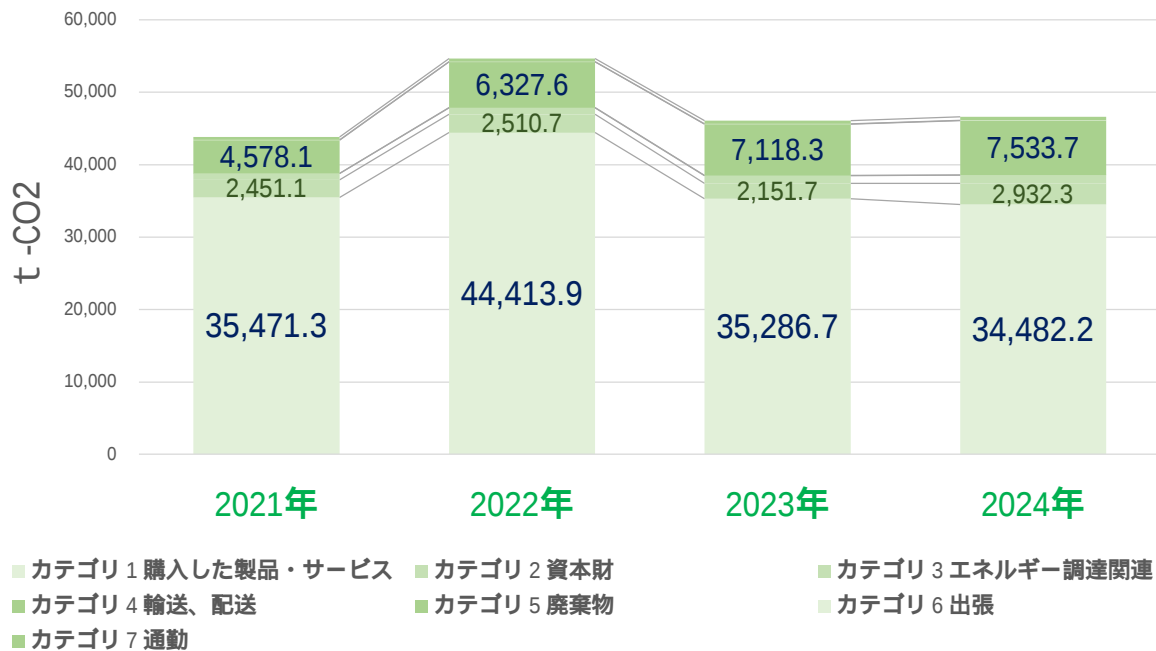
グラフ 2 . Scope1+2 GHG排出量



グラフ 3 . Scope 2 (電力使用におけるCO₂排出削減量)



グラフ 4 . Scope3 GHG排出量



GHG排出量 過去実績(2021-24年度)

(単位：t-CO2)		基準/実績	実績				目標	算出方法
		2021年	2022年	2023年	2024年	2030年		
Scope 1	直接排出 燃料使用、車両等	1,129.7	1,158.5	1,566.0	1,577.5	1,357.9		省エネ法燃料使用量、自社自動車
Scope 2	エネルギー起源の間接排出	3,168.4	2,973.1	2,850.9	2,452.4	1,135.0		省エネ法購入電力量
Scope1+2 総排出量		4,298.1	4,131.7	4,416.9	4,029.9	2,492.9		
Scope1+2 総排出量 削減率（％）		0.0%	3.9%	-2.8%	6.2%	42.0%		
Scope 3	カテゴリ 1 購入した製品・サービス	35,471.3	44,413.9	35,286.7	34,482.2			購入原材料費
	カテゴリ 2 資本財	2,451.1	2,510.7	2,151.7	2,932.3			減価償却費
	カテゴリ 3 エネルギー調達関連	863.2	918.4	1,032.3	1,133.6			購入電力量
	カテゴリ 4 輸送、配送	10.6	9.0	15.8	11.3			自社原材料納入、出荷配送
	カテゴリ 5 廃棄物	4,578.1	6,327.6	7,118.3	7,533.7			廃棄物種別重量
	カテゴリ 6 出張	30.2	30.2	32.8	33.7			従業員数
	カテゴリ 7 通勤</							